

感動の余韻 ～お客さまアンケートより～



**プラハ国立歌劇場オペラ  
モーツァルト《魔笛》**  
【2013.10.5/コンサートホール】  
オーケストラも合唱団もバレエも美しく感動しました。ザラストロの声が気持ち良かった!舞台美術も素敵でした。(福島県郡山市/40代/女性)  
大変素晴らしかったです。特に地元の子どもたちが舞台の最後を飾ってくれたのが印象的でした。(新潟市/60代/男性)



**キャラメルボックス 2013クリスマスツアー  
「ウルトラマリンブルー・クリスマス」**  
【2013.11.29・30/劇場】  
最初から最後まで感動しました。地元ネタも盛り込んでいただき、とても嬉しかったです。音楽、ダンスもすごく胸打たれました!またぜひ新潟で公演をやってください!(新潟市/10代/女性)  
独身の頃は東京まで観に行っていたけれど、子どもがいる今はそんなこともできず。今回は久しぶりに楽しい時を過ごすことができました。キャラメルボックスのお芝居を見ると涙と笑いの後に元気をたくさんもらうことができます。(新潟市/30代/女性)



**ライナー・キュッヒル  
ヴァイオリン・リサイタル**  
【2013.10.9/コンサートホール】  
3回もアンコールして下さい、ありがとうございます!!ヴァイオリンの弓の毛が切れるほどの力強い演奏と、きれいな音色が素晴らしいです。(新潟市/30代/女性)  
これぞヴァイオリンと感ずる柔らかく美しい音色に酔いしました。ピアノとのコンビも絶妙で、ハーモニーの良さがよくわかりました。(新潟市/60代/女性)



**りゅーとぴあ劇場狂言 vol.12**  
【2013.11.21/劇場】  
“MANSAIボレロ”を新潟で観ることができて感激です。発散されるエネルギーに高揚すると同時に圧倒されました。いろいろな感覚が湧き起こされ、終わった瞬間は泣いてしまいました。(三条市/30代/女性)  
82歳という野村万作さんの朗々とした声と軽やかな動きが素晴らしいです。期待していた“MANSAIボレロ”は、スモークの中、赤と白の衣装が美しく、クラシックの曲が違和感なく溶け込んでいました。(新潟市/60代/女性)

# RYUTOPIA MAGAZINE

りゅーとぴあマガジン 2014 Winter vol.35 | Life with Performing Arts



## わかちあう、感動

Spotlight Interview ぶらりFURUMACHI  
Noism Report 感動の余韻  
Ryutopia Navigation 読者プレゼント  
オルガンの巨匠たち りゅーとぴあカレンダー2014 Winter

### りゅーとぴあマガジン読者プレゼントコーナー

プレゼント①  
抽選でペア2組4名様  
イタリアンレストラン「リバージュ」(館内3F) ランチ券

プレゼント②  
抽選でペア2組4名様  
オペラシアターこんにゃく座《ねこのくにのおきやくさま》公演チケット

応募方法:ご希望の商品名(①「リバージュ」ランチ券、②「こんにゃく座」公演チケット)、(1)住所、(2)氏名、(3)年齢、(4)職業、(5)電話番号、(6)本誌を入手した場所、(7)本誌へのご意見・ご感想を記入の上、ハガキかE-mailでご応募ください。  
〒951-8132 新潟市中央区一番堀通町3-2「りゅーとぴあマガジンvol.35プレゼント係」present@ryutopia.or.jp  
応募多数の場合は抽選。当選者の発表は賞品の発送をもって替えさせていただきます。また、いただいた個人情報はプレゼントの発送のみに使用します。応募締切:2014年2月20日(木) 必着

Rivage Cucina Italiana イタリアンレストラン「リバージュ」3F  
TEL 025-224-7022  
営業時間/ランチ11:30~14:30  
ディナー17:00~21:00(LO 20:00)

～女池菜イタリアンフェア～  
1/4～2/28(ランチタイム)  
メニュー  
★ソーセージと女池菜のナポリタン  
★小海老と女池菜のペペロンチーノ  
★鶏肉と女池菜のトマトスパゲティ  
★ベーコンと女池菜のカルボナーラ  
★小柱と女池菜のリゾット  
★ソフトサラミと小松菜のピッツァ  
※スープ、サラダ、コーヒー又は紅茶付き 各¥1,200(税込)

※館内イベント開催時等はご予約のお客様のみとさせていただきます。  
※館内イベント状況によりラストオーダーの時間が異なりますのでお問合せください。

### 【編集後記】

新年あけましておめでとうございます。いつもりゅーとぴあに足をお運びいただき、誠にありがとうございます。本年が皆様にとって幸多き年となりますようお祈り申し上げます。さて、りゅーとぴあでは少年少女合唱団6団体が演奏を披露する「にいがたジュニアコーラス・フェスティバル」が今年から新しくスタートします。たくさんの元気を分けてくれる子どもたちの歌声を、ぜひご家族そろってお聴きください。(編)今号の表紙:新潟市ジュニア合唱団 第23回定期演奏会(2013)より

「りゅーとぴあマガジン」はりゅーとぴあの他にも下記にて無料配布しています。  
新潟市役所、区役所、連絡所、公民館、コミュニティセンター、みなとびあ、ほんぼーと、朱鷺メッセ、新潟ふるさと村アピール館、新潟県立図書館、新潟県ネスバス(東京)、長岡リリックホール、上越文化会館、三条中央公民館、小出郷文化会館ほか県内・県外文化施設など  
■次号のりゅーとぴあマガジンvol.36は2014年4月1日発行予定です。

### お問合せ

- 館内案内・プレイガイド TEL.025-224-5622 (休館日を除く 11:00～19:00)
- チケット専用ダイヤル TEL.025-224-5521 (休館日を除く 11:00～19:00)
- 施設利用お問合せ TEL.025-224-5621 (休館日を除く 9:30～18:00)
- N-PAC mate友の会事務局 TEL.025-224-5631
- 施設課 TEL.025-224-5611
- 事業課 TEL.025-224-7000

# 新潟演劇祭から 生まれる新作！ 気鋭の演出家・ 劇作家とともに！



撮影：東浦一夫

——まず最初に、芸術のミナト☆新潟演劇祭の印象は？

演劇祭のテーマである「交流」に大きな魅力を感じています。地域間、世代間、アーティスト間の交流がフラットにできて嬉しく思います。それから、ラインナップに新潟発の表現が沢山あるのがすごくいい。高校演劇もありますもんね。プロとかアマとかでなく、新潟で生まれた作品を並べているところが個性的。そういう演劇祭は全国的に珍しいです。

——いろんなジャンルの作品を次々に発表している印象があります。作品を立ち上げるのがすごく早いですよね。

柿喰う客「こどもと観る演劇プロジェクト」の『ながづつをはいたねこ』で、俳優が全員集まって稽古したのは3日間って言ったら、悲鳴をあげられました(笑)。でも、そこには誤解があって。稽古期間は3日だけど、劇団の結成から8年間。その積み重ねの中から、今回はどういう風にお客さんに出会おうかっていうことをいつも戦略的に考えています。

——最近子ども向けの演劇にも力を入れていますね。「ながづつ…」は妙高市でも上演しました。

子どもはみんな感動しがってますよね。われわれも、生きている以上は感動したい、心をゆさぶら

れたって思う。でも子どもほどには感動できないですよね。

子ども向けの作りとか、特別なことはしてなくて、逆に、見ている大人がどうやった子どもになってくれるかって考えてます。

——先日行われた、演劇祭プロデュース公演のオーディションの手ごたえはいかがでしたか？

新潟の俳優さんは、ほんとに素直です。素直ということ、アーティストにとって一番の武器。でも、日本における俳優訓練のプロセスでは失われやすくなってますよね。東京などで演劇を学んでいる人や、プロといわれる人たちは、なかなか素直になれない。自由な発想ができない環境にいるんだと思います。

演劇って、お客さんと出会うものですよね。劇場は、僕らの想像力と、お客さんの想像力が出会える場所なんですよ。常識と出会うんじゃなくて、そこではイマジネーションだけで会話ができる。愛のある空間だなと思ってます。あ、そういえば新潟はお客さんも素直ですよ！

新潟出身・在住の俳優さんたちは、新潟市民であるということに関しては、世界で一番あって、新潟市民のプロですよ(笑)。骨身にしみた「新潟」がある。新潟に対する思い、新潟からは逃れられないということ。そこは素直に受け止めてほしい。それに対して僕は興味がある。だから作れる、というか、取り組みたいと思えるんです。

——作品を上演する能楽堂について？

僕の今作の目標は、いかにわれわれの生活の中で「一番深呼吸できる場所」にするかということ。能楽堂行くと、息つまりますよね(笑)。能楽堂ではびしりとした緊張感のある芝居を作るのは容易というか、絶対そうなっちゃうと思うんですが、そこをいかに、風通しがいい空間にするか。「ここはいいなあ、世間のしがらみとかから開放されてる」って。

狂言みたいに愉快な、そしてある意味おどろおどろしい話になります。

それから、このりゅーとびあって劇場が、市民のものであり、「我々のものである」って気持ちになってほしいですね。最初から最後までアーティストのものっていう劇場はつまらないというか、さみしい。劇場は、「ここは自分の劇場だ」って思う人が何人いるかっていうことが全てだと思う。この場所が、本来そうあるかたちに、もっと「自分たちのもの」だって愛せるような作品にできればと思います。

中屋敷法仁 Nakayashiki Norihito  
演出家・劇作家・劇団「柿喰う客」代表

1984年青森生まれ。高校在学中に発表した「廣作マクベス」にて、第49回全国高等学校演劇大会・最優秀創作脚本賞を受賞。2004年に「柿喰う客」の活動を開始し、全作品の脚本・構成・演出を担う。新作以外にも、古典戯曲や短編、一人芝居など様々なジャンルの作品を手がける。新潟演劇祭では、柿喰う客の「流血サーカス」(2011年)、「発情ジュリアス・シーザー」(2013年)を上演し、好評を得た。

## 荒削りな情熱を抱え、若き日の証を刻む

2013/2014シーズンをもって、結成5周年を迎えた研修生カンパニー・Noism2。地道な日々の研鑽に、独自の定期公演も着実に数を重ね、確かな成果を残してきた。さらに、2013年秋より、山田勇氣がNoism2専属振付家兼リハーサル監督に着任。体制も新たに、より強靱な信念を携え舞踊家への道を切り開いてゆく。



2013年11月26日、りゅーとびあスタジオBにて撮影

2013年11月下旬、りゅーとびあ内のスタジオでは、早くも春の定期公演に向けたクリエイションが始まっていた。山田勇氣のもと、真剣な面持ちでリハーサルに打ち込む9名の若き研修生たち。彼らが今回挑むのは、山田の最新作『Painted Desert』。それは、アメリカ・アリゾナ州に実在する砂漠地帯の名。地層が隆起する荒地に、紫の花をつけた多年草が一面に広がっているという——。創作の発端とその想いを、山田はこう語る。

「小説の中にこの言葉を見つけて、想像が膨らみ、この題名で作品を創りたいと思いました。まず言葉からイメージした空間があって、そこには舞踊家の存在感が必要になる。明確な形が出なければできないような振付けを今回はやろうと思ってはじめてました」

難度の高いテーマを前に、研修生たちは皆必死だ。たどたどしく、歯がゆさに焦れながら、それでもどん欲にくりつづく。ときに山田は自らの身体を使い、若い彼



らの手本となる。肉体は豊かに言葉を紡ぎ、次第に意識は共振を増す。

専属振付家兼リハーサル監督として、山田が背負う役割は大きい。毎朝のクラスレッスンにはじまり、リハーサル終了まで。文字通り朝から晩・週6日間、Noism2と過ごし生活を共にする。密なる日々の中で、専属振付家だからこそ伝えられること、メインカンパニーを経た彼だからこそ伝えるべきものがあるという。

「自分でできるのは、その踊りがいい、よくない、このラインまですべきだというジャッジ。それは、ここで育ったからこそわかることでもある。自分が良しとすることはきっとNoism1に通じると思うし、他の場所でも通じてくれればと……」

Noism2の在籍期間は原則二年。期限が訪れれば、メンバーは進退を迫られる。昨シーズンは2名がメインカンパニー入りを果たし、2名がNoism2を去っていった。春にはまた、研修生募集の新規オーディションが開催される。確実に成果を出さなければ淘汰される、厳しい世界だ。「誰もがいい舞踊家になれる訳じゃない。狭き門です」という山田自身、棘の道でしごを削ってきたひとり。

「とことんやるしかない。そういう意味では、ここで時間を使い切って欲しい。楽しみ、苦しんで出て



山田勇氣

行ってくれたらと……」

舞踊だけを見つめて過ごす、何者でもない時間。それはある意味、何より贅沢な瞬間でもある。しかし、若い彼らが贅を贅と気付くのは、まだまだ先のことなのかもしれない。その全てを俯瞰し、見守る山田の視線は、あくまでも優しい。

「僕自身、この関係性の中でみんなが変わっていくのを見るのがやり甲斐でもある。Noism2にしかできない作品というものがあると思う。僕は彼らと、それを創ってみたいんです」

山田の手で露わになる、荒削りの情熱。そこに伴う無垢な痛みと焦燥は、若き日の証として、記憶の底へ深く濃く刻み込まれる。

取材・文：小野寺悦子 写真：村井勇

## Noism2 春の定期公演2014

『Painted Desert』演出振付：山田勇氣  
『Four Fours』演出振付：藤澤拓也  
出演：Noism2 芸術監督：金森穂  
日時：2014年3月7日(金) 19:00、8日(土) 17:00、9日(日) 13:30・17:00 ※全4回  
会場：スタジオB  
入場料：全席自由¥1,500  
発売日：一般2013年12月21日(土)・会員12月20日(金)

聖籠公演  
日時：2014年3月14日(金) 19:00 会場：聖籠町文化会館  
入場料：全席自由 一般¥1,000、高校生以下 無料  
発売日：2014年1月12日(日)  
問合せ先：聖籠町文化会館 TEL.0254-27-2121

燕公演  
日時：2014年3月15日(土) 19:00 会場：燕市文化会館  
入場料：全席自由 一般¥1,000、高校生以下 無料  
発売日：2014年1月6日(月)  
問合せ先：燕市文化会館 TEL.0256-63-7002



## 芸術のミナト☆新潟演劇祭プロデュース公演「恋する世阿弥」 Information

【公演日】2014年3月1日(土) 13:00・15:00・17:00開演、2日(日) 11:00・13:00・15:00開演  
※3チームでのトリプルキャスト上演による1日3回公演 ※各回後にアフタートークを予定

【会場】能楽堂

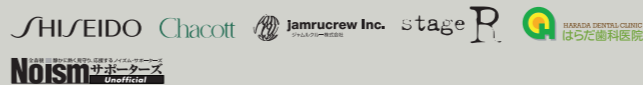
【出演】石井淑夫、黒江南、先川史織、佐藤辰哉、田嶋真弓、内藤陽介  
七味まゆ味(柿喰う客)、永島敬三(柿喰う客)、三上真史(D-BOYS)

【チケット】全席自由¥2,800(高校生以下¥1,000、小学生¥500)  
※1枚のチケットで同日の3公演を観劇可 ※HARVEST「メディア」とのセット券(¥4,000)あり

【発売日】一般・会員1月8日(水)



私たちはNoismの活動を応援しています



活動支援のお願い

Noismでは引き続きレジデンシャル活動を支援してくださる企業および個人のスポンサーを募集しております。詳しくは<http://www.noism.jp>「活動支援」/りゅーとびあ事業課(TEL.025-224-7000)までお問合せください。

# RYUTOPIA NAVIGATION 2014 WINTER / SPRING

2014年冬～春のおすすめ公演をピックアップ。  
公演情報の詳細は本誌折込のりゅーとびあカレンダーをご覧ください。

## 世界が注目した指揮者・大植英次が新潟定期に初登場!

第82回新潟定期演奏会 / 東京交響楽団  
■2014.3.2(日) 17:00開演  
■コンサートホール

2005年に日本人指揮者として初めてドイツのバイロイト音楽祭で指揮し、世界中の注目を集めた大植英次が新潟定期に初登場。曲はバーンスタインの「キャンディード」組曲、チャイコフスキーの幻想序曲「ロメオとジュリエット」と「交響曲第5番」をお贈りします。師バーンスタインゆずりのアメリカ音楽、大植独特の解釈で聴くチャイコフスキーの名曲にご期待ください。



大植英次

## ジンマン&トーンハレの黄金コンビに鬼オクレメメルが協演!

チューリッヒ・トーンハレ管弦楽団  
■2014.4.17(木) 19:00開演  
■コンサートホール

りゅーとびあオープンを飾ったジンマン指揮のトーンハレが15年ぶりに登場。しかも今回はリストにヴァイオリンの鬼オクレメメルを迎えます。R.シュトラウスの交響詩「ティル・オイレンシュペーゲルの愉快ないたずら」、モーツァルトの「ヴァイオリン協奏曲第5番」、ブラームスの「交響曲第4番」とプログラムも名曲づくし!この春、最注目のオーケストラコンサートです。



デイヴィッド・ジンマン



ギドン・クレーメル

## 世界最強のソリスト集団! コンサートマスター榎本大進も出演

ベルリン・フィル八重奏団  
■2014.1.28(火) 19:00開演  
■コンサートホール

2013年に第1コンサートマスターの榎本大進らが新たなメンバーとして加入した、ベルリン・フィルのトップ奏者からなる室内楽アンサンブル。レパートリーの軸であるシューベルトの傑作「八重奏曲」や、クラリネットの世界的名手ヴェンツェル・フックスの多彩な音色で聴くモーツァルト「クラリネット五重奏曲」など、緻密で絶妙なバランスの美しいハーモニーを満喫できます。



ベルリン・フィル八重奏団

## 家族みんなでパイプオルガンを楽しもう!

ニューイヤー・オルガン・ワンコイン・コンサート  
■2014.1.12(日) 11:30開演  
■コンサートホール

親しみやすいトークと共にパイプオルガンの魅力に触れられる、新春恒例のオルガンコンサート。特別に会場に大スクリーンを設置し、オルガニストの華麗な演奏の様子をライブ映像でもご覧いただけます。入場料は中学生以上500円(小学生以下無料・4歳以上入場可)。事前にチケットを買わなくても当日現金で入場できますので、どうぞお気軽にお出かけください。



伊藤純子

## イタリアからバッハに至る南ドイツのオルガン作品を集めて

グレンツィングオルガンの魅力No.17 「南ドイツのオルガン音楽」  
■2014.2.9(日) 17:00  
■コンサートホール

りゅーとびあ専属オルガニストの山本真希が、毎回テーマを設け、多彩なオルガン音楽をお届けしているリサイタルシリーズ。今回は、イタリアの作曲家フレスコバルディの影響を受け、バロック時代のオルガン音楽の発展に大きく貢献した南ドイツ・オルガン楽派の作品を中心に贈ります。イタリアからJ.S.バッハへと通じる彩り豊かなオルガン音楽をお楽しみください。



山本真希

## ドイツを代表するオルガンの巨匠

ヴォルフガング・ツェラー オルガンリサイタル  
■2014.3.15(土) 15:00  
■コンサートホール

数々のヨーロッパ国際オルガンコンクールの受賞歴を誇り、弱冠28歳でドイツの名門ハンブルク音楽大学のオルガン科教授に就任するなど、卓越した才能を持つオルガニスト。ドイツ・バロック音楽の演奏家として高く評価され、ロマン派音楽も得意とするツェラーが、りゅーとびあのパイプオルガンからどのような音色を引き出すのか、プログラムもバッハからフランク、メシアンと注目のリサイタルです。



ヴォルフガング・ツェラー

## 野村萬斎が企画し、自らが演出・主演! 劇作家・川村毅が書き下ろす新たな劇世界

神なき国の騎士—あるいは、何がドン・キホーテにそうさせたのか?  
■2014.3.28(金) 19:00・29(土) 14:00開演  
■劇場



野村萬斎

撮影:久家晴秀

シェイクスピア作品に能狂言の発想を融合させた「まちがいの狂言」「国盗人」などを手がけてきた野村萬斎が、スペインの作家・セルバンテスの代表作「ドン・キホーテ」の感性に着目し、新たな舞台芸術作品を構想。「現代能楽集」などで近年高い評価を得ている劇作家・川村毅による渾身の書き下ろしで、「萬斎キホーテ」を演出させます。魅力的な俳優陣や大駱駝艦メンバーとともに野村萬斎が創り上げる新たな劇世界。この春、一番の話題作をどうぞお見逃しなく!

作:川村毅 演出:野村萬斎  
出演:野村萬斎、馬淵英俤可、木村了、深谷美歩、谷川昭一朗、村木仁、中村まこと/[大駱駝艦]

## 昭和の大女優・杉村春子と山田五十鈴を偲んでの二本立て

白石加代子「百物語」第三十一夜【第九十六話】林芙美子「晚菊」【第九十七話】北條秀司「狐狸狐狸ばなし」  
■2014.2.15(土) 18:30開演  
■劇場

「恐怖」をキーワードに選んだ文学作品を、女優・白石加代子が朗読する「百物語」シリーズも最終「九十九話」まであと四本。「狐狸狐狸ばなし」は、森繁久弥と山田五十鈴にあてて書かれた戦慄と爆笑の幽霊コメディ。「晚菊」は成瀬巳喜男監督によって映画化され、杉村春子が主人公を演じて絶賛された作品。昭和の大女優が遺した二つの傑作に白石加代子が挑みます。



白石加代子

## 狂言のセリフや動きを楽しく体験!

りゅーとびあ狂言ワークショップ  
■2014.2.3(月) 18:30開演  
■能楽堂

狂言の魅力に触れることのできる人気のワークショップ。「野村万作・萬斎狂言公演」にも出演している狂言師の高野和憲さんを講師に招き、狂言のお話を聞いたり、実演を観たり、能舞台の上で狂言のセリフや動きを実際に体験できます。小学生から参加できますので、お子さんやお孫さんのお申し込みも大歓迎。狂言を観たことのない方もお気軽にご参加ください。



能楽堂バックステージツアー

## 憧れの舞台の裏側を探検!

りゅーとびあバックステージツアー  
■【能楽堂】2014.1.19(日) 11:00・14:00  
■【劇場】2014.2.22(土) 10:30・14:00

普段は客席からしか見ることのできない憧れの舞台の裏側を特別公開。神秘的な能舞台に隠されたヒミツを知ることのできる能楽堂編(1/19)。ステージ上で華やかなスポットライトを浴びたり、いろいろな機械を紹介する劇場編(2/22)。どちらも様々な発見がいっぱいです。



劇場バックステージツアー

## 子どもと楽しむりゅーとびあ

### 少年少女合唱団の楽しい歌のフェスティバルがスタート!

にいがたジュニアコーラス・フェスティバル2014  
■2014.2.15(土) 14:00開演  
■コンサートホール

新潟市とその近郊地域の少年少女合唱団6団体がりゅーとびあに大集合!ジュニアコーラスならではの清らかな美しさ、楽しさにあふれた歌の数々をぜひお聴きください。

出演団体:阿賀野市ジュニア合唱団、せいろう少年少女合唱団、新津少年少女合唱団、北区少年少女合唱団、新潟少年合唱団、新潟市ジュニア合唱団

入場無料(要整理券) 4歳以上入場可



新潟市ジュニア合唱団

### 新潟の子どもたちが奏でる音楽の祭典!

新潟市ジュニア音楽教室 第10回スプリングコンサート  
■2014.3.30(日) 14:00  
■コンサートホール

新潟市ジュニア音楽教室(邦楽合奏、合唱、オーケストラ)による、毎春恒例の合同コンサート。心をひとつに演奏する子どもたちの音楽には、プロの演奏でも味わえない爽やかな感動があります。楽しい仲間たちが音楽の大好きなみんなが来るのを待っています。

新潟市ジュニア音楽教室 参加者募集!  
音楽が大好きでやる気のある人なら誰でも大歓迎!まずはスプリングコンサートへお出かけください。会場で詳しい案内チラシをお配りします。

入場無料(要整理券)

※未就学児のお子様は入場できません。

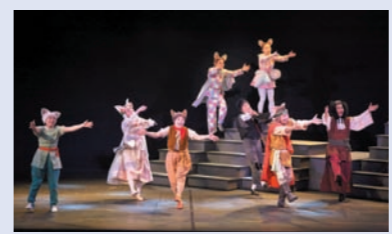


### すべての子どもと大人へ贈るこんにやく座の名作オペラ!

オペラシアターこんにやく座 オペラ《ねこのくにのおきやくさま》  
■2014.3.23(日) 14:00  
■劇場

働きものぞろい豊かなこの国へ、ある日舟に乗って仮面で顔をかくしたふたりの旅人がやってきます。ねこの国の住民が知らなかった歌や踊り、楽しい遊びを教えてくれたふたりの正体は? こんにやく座の作曲・芸術監督の林光が最後にのこした名作がりゅーとびあに初登場。想像力をふくらませる演出、美しい生の歌声で聴く日本語のオペラが深い感動を届けます。

4歳以上入場可



### 大人気! 子どものための能楽体験ワークショップ

こども能楽たいけん☆ワークショップ「さわってみよう能の世界」  
■2014.3.27(木) 13:00  
■能楽堂

子どもたちが楽しみながら能の魅力にふれることのできる、春休み恒例の能楽体験企画。白足袋を履いて能舞台の上を歩いたり、能の楽器を体験したり、ダイナミックな能「土蜘蛛」を鑑賞できたりと、盛りだくさんの内容です。対象は小・中学生。保護者の方も見学できます。参加無料ですので、この機会にお友だちをさそって、日本が誇る伝統芸能の世界を体験してみてください。





リュベックの街並み



聖マリア教会のオルガン

## オルガン・インフォメーション

- 山本真希オルガンリサイクルシリーズ「グレンツィングオルガンの魅力 No.17「南ドイツのオルガン音楽～フレ斯科バルディから南ドイツ・オルガン楽派へ」(2/9) ※公演情報の詳細は「リュベックとびあカレンダー」をご覧ください。
- 山本真希のCD「グレンツィングオルガンの魅力」(税込定価¥2,500) リュベックとびあ2Fインフォメーションで好評発売中!

## オルガンの巨匠たち

文 山本真希 写真提供:井上圭子

リュベックとびあ専属オルガニストの山本真希がオルガンの巨匠とその音楽について紹介します。

### ヨハン・セバスチャン・バッハ 第3回

#### アルンシュタット時代

18歳の青年バッハが初めてオルガニストの地位についたのは、ドイツ中部に位置するアルンシュタットの聖ボンファティウス教会でした。ここでは、朝の礼拝で讃美歌を伴奏すること、聖歌隊の指導がバッハの役割でしたが、オルガン演奏の訓練と作曲するための時間も充分にありました。南北両ドイツ、フランスなどの優れた先人の作曲法と幅広いスタイルを熱心に研究し、礼拝に参列する1500人もの会衆の前で自ら創作した曲を披露するなど、学習と実践を繰り返すことでバッハは音楽の才能を磨き、益々確かなものへと発展させていきました。

その頃、オルガン音楽の巨匠として名高いブクステフーデの演奏を聞くため、バッハは4週間の休暇を申し出て北ドイツのリュベックへと出かけます。港町リュベックは豊かな商業都市として栄え、その繁栄を示すように教会には大きなオルガンが設置されていました。ブクステフーデは聖マリア教会のオルガニストという立派な地位にあり、自作のオルガン曲をはじめ、室内楽やカンタータも演奏し

ていました。特に、自由で大胆な和声や転調を多用し、技巧的なペダル演奏を駆使したオルガン作品は、若いバッハに強い影響を与え、その素晴らしい演奏に感激したバッハは、予定を大幅に延長してリュベックに滞在。4ヶ月後、やっとアルンシュタットに戻りました。

教会当局は長期間の欠勤理由を厳しく問われましたが、バッハの返事はいい加減で礼儀を欠いたものでした。さらにブクステフーデの影響を受けたバッハの演奏ががらりと変わり、讃美歌の伴奏が会衆には複雑すぎることや、聖歌隊や楽器演奏の学生たちと協力しない態度なども相次いで非難されました。

当局との折り合いが悪くなりアルンシュタットの地位に嫌気がさしていたバッハですが、この頃からその才能は次第に世に知られ始め、いろいろなポストの申し出がありました。研究心旺盛なバッハは、アルンシュタットで実現できない様々な教会音楽の大きな構想を求めて、新たな地ミュルハウゼンへと赴きます。

(次号へ続く)

**PROFILE** Yamamoto Maki  
大阪府出身。神戸女学院大学音楽学部、同専攻科卒業後渡独。ドイツのフライブルク、シュトゥットガルトでオルガンを学ぶ。第1回ドイツ・ランドゥスベルク国際オルガン・コンクール第3位。リュベックとびあ専属オルガニスト、大阪相愛大学音楽学部オルガン科非常勤講師。



## ぶらりFURUMACHI

文・イラスト：迫一成 (hickory03travelers)

vol.15

### 「ここにしかないもの」

すっかり冬の新潟になりましたがみなさん風邪などひいてませんか?お気をつけくださいね。

さて、この秋はいろんなところにお仕事で行かせてもらいました。青森、静岡、大阪、奈良、東京、愛媛。全国を飛び回った感じです。ぼくらはヒッコリースリートラベラーズという名の集団なので、「トラベラーズ」らしくていいな、と思ってます。とは言うものの毎週繰り返される出張は疲れますね。家族も疲れます。ということで、先日久々にゆっくりできた週末は、リフレッシュに家族でツアーに参加。初めてSLに乗り会津若松へ行きリンゴ狩りを楽しみました。結局旅行ですが旅は学びも多いので楽しいです。

また逆に、県外からのゲストをお迎えする機会もありました。いつでも街を歩くと「どこか思いがけないおもしろいものないかな?」と考え、誰かに新潟をご案内する時は「この人の好きそうなもので、ここにしかないものってなんだろう?」と頭を悩ませます。古町案内



で好評なのは「本間印刷」のかわいいゴム印や、人情横丁の豆専門店「豆原豆店」さん。共に老舗です。そして共に笑顔がいい。癒されます。いろんな笑顔がありますが、笑顔はきっとだれにでも始めることができ、喜ばれるものだし地域らしさのあるもの1つだと思います。「笑顔探し」が「いいもの探し」になりそうですね。

**PROFILE** Sako Kazunari 1978年福岡県生まれ。2001年クリエイティブ集団hickory03travelers結成。「日常を楽しむ」のコンセプトに基づき、Tシャツ、雑貨などのデザイン制作・販売を一貫して行う。その他、個展、イベントの企画・運営、商店街を面白くする活動など幅広くそして柔らかく活動中。  
<http://www.h03tr.com>

## RYUTOPIA Before? After?



リュベックとびあでのコンサートや舞台鑑賞の前後に立ち寄りやすい「パートナーショップ」のお店をご紹介します。

### cafe' dandelion

昼公演が多めとなる今年の冬、アーケードを抜けて古町通りへ出かけよう。しばらく歩けば、体に優しい、ランチとスイーツが売りのカフェ・ダンデライオンが目に入る。見た目かわいらしい店内は、落ち着いた雰囲気。今ではよく見かける、雑穀米のメニューを8年前の開店当初から出していて、トマトベースのカレーによく合う。和ごころヘルシースイーツとドリンクのセットであたたまって!



新潟市中央区古町通3番町655-1  
TEL 025-225-9222  
【営業時間】11:30-19:00  
【定休日】火・木曜日  
(火曜日はおやつの日。"カミフルマチおやつ工房ダンデライオン"として、テイクアウトのお菓子販売中)

パートナーショップ特典 銅板焼バターミルクパンケーキ (メープルシロップ&塩バター添え) 630円→500円

### パートナーショップとは?

リュベックとびあで開催された公演チケットが、リュベックとびあ友の会N-PAC mate会員証を提示すると、サービスをご利用いただけるお店です。詳細はリュベックとびあホームページでご確認ください。 ※公演によっては対象外のものもございます。

## ただいま本番中! in リュベックとびあ

リュベックとびあで本番を迎える市民のみなさまの活動の様子をご紹介します。



### 「コンサートホールに響く歌声」

10月31日(木)【コンサートホール】

芸術の秋、リュベックとびあでもいろいろな学校の生徒さんが合奏や合唱にと日ごろの成果を存分に発揮します。そんな秋の一日、「平成25年度新潟市立鳥屋野中学校合唱祭」が開催されました。クラス合唱と、約280人がステージ上で歌う「学年合唱」で、歌声がホールいっぱいに響きました。

合唱祭担当の先生にお話を伺うと、リュベックとびあを選んだ理由は、「ホールの音響が素晴らしい。また、生徒数が多くても学年合唱で全員そろってステージで歌える」ためだそうです。「大きなホールで緊張したけど、気持ちよかった」という生徒さんや、「会場が違うとこ

なに響きが違うのか」と感じられた先生も。「生徒にとって素晴らしい合唱・鑑賞の経験になりました」との感想をいただきました。また、「舞台セッティングがスムーズだった」「お客様をご案内するレセプションの対応がよかった」という声も聞かれ、スタッフ一同励みになりました。アリーナ形式で約2,000人収容できるコンサートホールは、音楽祭や合唱コンクール、さらに創立記念の式典や入学・卒業式などでもご利用いただいております。施設利用や舞台設備に関する事など、スタッフが丁寧にご案内いたしますので、お気軽にご相談ください。

楽屋10室(ピアノ付楽屋有り)、搬入口11トントラック駐車可能。舞台芸術の公演時は、レセプション(客席案内係)がお客様のご案内を承ります。

施設利用のお問合せは、リュベックとびあ施設課 利用サービス係 TEL 025-224-5621 (9:30~18:00)

## リュベックとびあ SHOP 通信

リュベックとびあSHOP (館内2F インフォメーション)  
営業時間 11:00~19:00 (休館日を除く)

### 【新潟の風景絵葉書】 定価 各¥105

2階SHOPでは、旧巻町出身の画家・藤井克之さんの絵葉書の取扱いを始めました。藤井さんは、米菓「新潟チップス」のパッケージに描かれている田植えの風景画も手掛けていらっしゃいます。懐かしさと温もりあふれる新潟の風景の数々が描かれた絵葉書を、どうぞ店頭でお手に取ってご覧ください。

※リュベックとびあSHOPでは様々なポストカードをはじめ、おみやげやプレゼントにぴったりな商品を多数ご用意しています。ご来館の際はぜひお立ち寄りください。



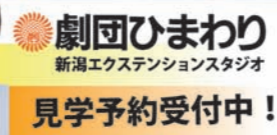
劇団ひまわり 新潟エクステンションスタジオ 第1回公演  
ナチス支配下に生きた子どもたちの記録

大切なことは、子どもたちの未来だ。

DATE 2014.3.8(土)9(日)  
リュベックとびあ 新潟市民芸術文化会館劇場  
3月8日(土) 17:00 / 9日(日) 13:30 開演  
全席自由 3,500円

チケット取扱:  
新潟日報社インフォメーションえん (メディアショップ1階) TEL025-385-7332  
リュベックとびあインフォメーション TEL025-224-5622  
\*NIC 新潟日報販売店でもお取り寄せができます \*車イスでのチケットはリュベックとびあのみで取扱っています

脚本=いずみ 暁 音楽=加藤 登紀子 演出=栗田 芳宏  
主催: 新潟日报社 NIST 劇団ひまわり



劇団ひまわり  
新潟エクステンションスタジオ

見学予約受付中!

3月中旬 研究生募集  
オーディション開催!

【お問い合わせ】

劇団ひまわり

TEL.03-3476-0077

劇団ひまわり 新潟 検索

HP <http://www.himawari.net>

